

迎春

うたしない

Utashinai



【今月の表紙】

12月4日、歌志内幼稚園で恒例のもちつき会が行われました。

園児たちは順番に、掛け声を合わせていっしょけんめいにおいしそうなおもちをつきあげ、お母さんたちといっしょにおみやげ用のあんこもちを作ったほか、きな粉や納豆、のりなどをつけてみんなで楽しく食べました。



歌志内市のアドレス

ホームページ <http://www.city.utashinai.hokkaido.jp/>

Eメール info@city.utashinai.hokkaido.jp

市長・議長 年頭のごあいさつ	2
今年は丑年 年男・年女の皆さんをご紹介します	4
住宅用火災警報器の設置はお早めに！	6
暖房用灯油助成券を交付します	8
議会の動き	10
平成20年度歌志内市功労者表彰式	11
小学校統合についての検討結果をお知らせします	12
広報トピックス	14
くらしのカレンダー	16
くらしの情報	18



歌志内市長 泉谷和美

市民の皆さま、新年あけましておめでとございます。

輝かしい新年を皆さまとともにお迎えてきたこと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は北京オリンピックでの道内選手の活躍や四人の日本人がノーベル賞を受賞するなど、感動と喜びを受ける一方、食品の偽装や無差別殺人、巧妙化する振り込め詐欺などの理不尽で身勝手な犯罪が多く発生し、また、原油の高騰や、米国発の金融危機による急激な株安や円高が、企業収益や雇用に深刻な影響を与えた一年でもありました。

このような年に私は、皆さまのご支援をいただき、再び市政を担当させていただくことになりましたが、

年頭にあたりその職責の重さを再認識するとともに、市民と協働のまちづくりを進め、活力ある歌志内の再生を目指し全力を尽くす所存であります。

本市においては、市町村合併の可能性を協議して参りました、2市3町による地域づくり懇談会が財政上の問題を解消することができずに解散いたしました。

しかしながら、地方交付税に大きく依存する本市の財政基盤にあつては、市町村合併は避けて通れない課題であります。その実現には多くの時間を要するため、当面は、事務事業の広域化について、引き続き研究・検討を行って参ります。

さらに北海道では、人口減少や少子高齢化の進行、財政状況の悪化、地方分権の進展など市町村を取り巻く大きな環境の変化を踏まえ、広域的な共同処理事業を展開するため、「中空知自治のかたち円卓会議」を設置し、地域主権型社会にふさわしい住民本位の新たな広域連携の可能性や将来の広域自治の展望等について、幅広い観点から調査・研究を行いたいとの提言を受けております。

こうした動きに的確に対応し、近隣市町との連携・協調を今後も図つ

て参ります。

また、本年4月には、旧歌志内高等学校の校舎に歌志内中学校が移転します。現在の中学校校舎は新耐震基準を満たしておりませんが、移転先の校舎は耐震化が施され設備も充実しており、さらに学校敷地も広いことから、生徒たちには安全・安心で充実した教育環境を提供できるものと期待をしております。

次に、財政問題ですが、一昨年発生した本市の財政赤字は、皆さまのご理解、ご協力により早期に赤字解消を実現することができました。

しかし、国が各自自治体の財政状況を見極める指標として定めている健全化判断比率のうち「実質公債費比率」では、平成20年度においても財政破綻の黄色信号である早期健全化団体に該当する見込みとなっており、引き続き、皆さまのご協力をいただきながら「歌志内市財政健全化計画」を着実に推進する必要があります。

本市には未だ多くの課題が山積しておりますが、安定的な財政基盤の確立と地域経済の活性化、小さくても思いやりのある安全安心な地域の実現に向け、誠心誠意努めて参りますので、市民の皆さまのご理解とご

協力をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

終わりに、今年1年が皆さまにとりまして、健康で幸多き年でありますよう祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

お慶びを申し上げます



歌志内市議会議長 梶 敏

新年あけましておめでとうござい
ます。

平成21年の年頭にあたり市議会を
代表してごあいさつを申し上げます。

昨年は、市議会にご理解とご協力を
賜り、心から感謝とお礼を申し上げ
ます。これからもこの街に皆さん
と共に住んで良かったというまちづ
くり、努力を積み重ねて参ります。

さて、昨年国内では、岩手・宮城
内陸地震による甚大な被害が発生し、
現在もなお復興に向けた取り組みが
続けられておりますが、被災されま
した皆さまにはお見舞いを申し上げ
ますとともに一日も早い復興を念願
しております。

また本市でも、一昨年来から特定

地域において人的被害も出した火災
が多発し、市民の安全・安心が損な
われる事態となりましたが、地域住
民の皆さんや消防の努力により現在
は鎮まり、静けさが戻って参りまし
た。

海外では、100年に一度といわ
れる金融恐慌による世界的な経済不
況の兆しが見えており、日本におい
ても実効ある経済対策が望まれてお
ります。特に、今春の大・高卒者の
入社取り消しや非正規雇用の契約
打ち切りなど、日本経済・地方経済
が立ち行かなくなると各メディアは
報じており、たいへん心配している
ところでもあります。私たちの立場で
は手の届かない問題ですが、地域で
安全・安心で暮らせる対応を望むも
のであります。

今、歌志内市において、教育のさ
らなる振興が求められているところ
であります。本年は中学校が旧歌志
内高校に移転し、両小学校は統合へ
の準備が具体的に進められて参りま
すが、次の世代を担っていく青少年
のあり方を地域住民・学校・家庭が
一丸となつて行政・議会ともども取
り組んで行かなければならないと思
っております。

北海道が明治以前から我が国に果

たしてきた役割の中でも、歌志内の
石炭採掘による貢献は多大でありま
す。しかし基礎自治体1万人以下の
マチには厳しい状況が待っていると
思いますが、市民の幸せと希望に満
ちた明日への扉を開くため、わたく
しどもは地域住民の代表として、そ
の責務と役割の重大さを深く自覚し、
議会活動を通じて新時代にふさわし
い地方自治の確立に全力で立ち向か
つていく決意を新たにしているこ
ろです。

市議会では昨年8月に周辺6市議
会議員の研修会を担当し、その中で
内閣府地方分権改革推進委員会の事
務局長を講師として招き、国と地方
の役割分担の基本的な考え方などを
学んだところであります。

また本年も、中空知広域市町村圏
組合主催による5市5町の議員交流
会を担当することとなっております
が、中空知の魅力テーマとする研
修を予定しながら、さまざまな角度
からふるさを見つめる機会にした
いと考えております。

110年を超える歴史を持つ歌志
内を誇りに慎重かつ大胆に全力を尽
くして参りますので、どうか本年も
皆さまの温かいご理解とご協力、そ
して率直なお声をお願いいたします。

謹賀新年

謹んで新年の

この1年のご健勝、ご多幸をお祈
り申し上げます、年頭のごあいさつとい
たします。